



2025 年度
第 14 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
インセンティブ支給
国家代表交代
などに対する
懲戒の可能性は？



2
懲戒を要求された
卓球協会
新スポーツ公正委員会の
構成完了



3
障害者
スポーツ人権
条例案
有名無実



4
慶南テコンドー協会
役員不正・
不正疑惑で
まな板の上



5
一緒に走り
一緒に学ぶ
白石大学
特殊体育教育科の特別授業



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



*

01 スポーツ京郷 2025.04.17

インセンティブ支給、国家代表交代などに対する懲戒の可能性は？……

柳承敏大韓体育会長関連イシュー分析



大韓体育会の柳承敏会長が大韓卓球協会会長在任時代、役員インセンティブ支給、国家代表選手交替疑惑などによりスポーツ倫理センターから大韓卓球協会を通じて懲戒を要求された。柳会長は16日、公開謝罪した。卓球協会は公正委員会を構成して案件を検討するという立場を明らかにした。

た。関連した内容を質疑応答形式で解いてみる。

Q. 倫理センターが柳承敏、全協会長に提起した主な問題は何か

A. 大きく分けて二つだ。役職員へのインセンティブ不当支給だ。柳承敏、当時協会長は外部後援金誘致の際、誘致金10%を後援を引っ張ってきた役員にインセンティブとして支給した。文体部の承認なしに自主規定に従ったもので「役員は報酬を受け取ることができない」という定款に違反したと倫理センターは判断した。センターは柳会長を含む前・現職役員4人に対する懲戒を勧告した。そのうち2人は業務上背任の疑いで告発された。国家代表選抜手続き違反の可能性も提起された。競技力向上委員会が選定した選手を、再審議なしに他の選手に交替したということだ。

Q. センターはなぜこのような調査をしたのか

A. センターは文化体育観光部傘下の法定機関だ。スポーツ界の不正などに対する申告があれば、それを調査して90日以内に通知しなければならない義務がある。卓球協会、柳承敏、前会長に対する申告も公式に受け付けられ、センターは規定によって調査した後、結果によって懲戒が必要な場合、懲戒を勧告しなければならないのがセンターの義務だ。センターで調査された事項は文体部、大韓体育会、卓球協会などに公式文書で伝えられる。これも義務規定だ。センターは懲戒を直接下すことはできず、勧告だけを行うことができる。

Q. 柳承敏会長はどのような立場を明らかにしたのか。

A. 16日、会員種目団体長懇談会で、また個人SNSで公開謝罪した。「規定をまともに用意できなかったことは失策であり、不始末なことに対して申し訳ない」という趣旨だ。インセンティブ受領に対しては「個人的には一銭も受け取っていない」と釈明した。そして、後援が切実な種目の劣悪な財政状況で避けられない決定だったと説明した。柳会長は今後類似の問題が再発しないようマーケティング・運営制度改善推進の意思も明らかにした。速やかに謝ったのは一応よくやったものだ。

Q. この事案は今後どこで扱うことになるのか

A. 大韓卓球協会スポーツ公正委員会が取り扱う。協会は18日、新しい委員構成を承認する。委員会は法曹人、体育界、人権専門家など7~15人で構成される。規定上、主要スポーツ関連団体は公正委員会を必ず設けなければならない。公正委員会は団体長さえ影響力を行使できない独立性を保障される。公正委員会が今回の案件を検討した後、懲戒可否と懲戒強度などを決める。懲戒水準は団体に対する貢献度などを考慮して半分まで減らすことができる。

Q. 柳会長が立証したり、釈明しなければならない核心は何だろうか

A. 最も大きなことは、インセンティブを受けていないという主張を客観的に証明することだ。本人はインセンティブを受けなかった」と口頭で数回明らかにした。結局、個人通帳および協会通帳取引内訳、協会会計資料および送金記録などをオープンすれば簡単に立証できる。役職員がインセンティブ 10%を受けられるよう規定を改正した「時点」も会議記録または報告書などで公開しなければならない。規定改正が内部会議・理事会通過など手続きの正当性を経てインセンティブ支給以前になされたという証拠が必要だ。

Q. この事案は、大韓バドミントン協会の事例とどのような点が似ていて、どのような点が違うのか

A. 昨年、文体部はバドミントン協会を強く圧迫した。協会役員陣が企業から購入したシャトルcockの一部を恣意的に使用したというのが骨子だ。当時、協会の役員らは適当な会議の手続きなしにシャトルcockの一部を特定大会、特定地域に配分した。文体部は「体育振興基金で購入した物品」だったとし、横領、背任を理由に警察署捜査まで依頼した。マスコミもいわゆる「ペイバック」という刺激的な字句で協会を批判した。文体部は後援物品の不法配布、補助金法違反、職場内いじめを理由にキム・テクギュ当時会長解任を要請し、協会事務処長に重懲戒を要求した。今回の卓球協会は「外部」後援金のうち 10%を該当役員に「現金」で支給した。バドミントン協会は公金の「補助金」で購入した「現物」の一部を「団体」に渡した。

Q. 公正委の懲戒結果はどうか

A. 公正委員会は公正委員会の規定により懲戒可否、懲戒水準などを論じる。バドミントン協会公正委員会規定に基づいて判断する場合、柳承敏会長がインセンティブを受けなかったということを客観的に証明すれば、管理責任の疎か程度が認められ、警告または譴責水準の懲戒が出る可能性がある。反面、インセンティブを実際に受領した人は現在の規定上は業務上背任に該当し、もう少し強い懲戒(停職・資格停止など)が下されることもありうる。卓球協会はインセンティブとして支給した金額全部または 3~5 倍に該当する賦課金まで文体部に償還しなければならないこともありうる。文体部は似ているか、これより強い金銭的還収をバドミントン協会、大韓サッカー協会に要求し、これを遂行しなければ賦課金増額、今後補助金支給制限などを警告した経緯がある。

Q. 大韓体育会長になった柳会長はどう対処すべきか

A. まず、良くない影響を及ぼしたことは否定できない。今回の案件が規定により、公正に扱われた後、適法に決着がつくことが重要だ。柳会長は、4 年任期の大韓体育会長の業務を始めたばかりだ。柳会長はスポーツ界の公正性向上、不正根絶などを普段から強調してきた。柳会長としても今回の調査に誠実に臨みながら関連疑惑を解消する一方、誤った部分が認められる場合、懲戒結果を受け入れなければならない。そのような姿勢が本人の哲学および主張と符合し、今後体育会長として業務を遂行するにも役立つ。

出典：

https://m.sports.naver.com/general/article/144/0001033290?fbclid=IwY2xjawJuk_VleHRuA2FlbQIxMQABHqss7T7lGZtn2k_EecGSz08_P68d

02 連合ニュース 2025.04.18

倫理センターの懲戒を要求された卓球協会、新スポーツ公正委員会の構成完了

文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターから前・現職役員に対する懲戒を要求された大韓卓球協会(会長イ・テソン)が懲戒強度を決める新しいスポーツ公正委員会を構成した。

卓球協会は 18 日、非対面理事会を開き、スポーツ公正委の構成に対する承認を受けた。

スポーツ公正委員会は既存委員の任期が満了したことにより今回新しく構成した。

ある法務法人代表弁護士が委員長を務めた中で、公正委員は委員長を含め 9 人で構成した。

現行の卓球協会スポーツ公正委の規定には、委員は推薦委員会の推薦を経た法曹人とスポーツ専門家、人権分野の従事者のうち 9 人以上 15 人以内に置くことになっている。

公正委員会は構成を終えたことにより、スポーツ倫理センターが要求した懲戒水準決定のための準備に入る。

委員会は調査および審議過程を経て卓球協会に懲戒を要求することができる。

卓球協会は最近、倫理センターから協会前・現職役員らが国家代表選手をすり替えたという疑惑と役職員インセンティブ不当支給などの理由で懲戒要求を受けた。

倫理センターは、卓球協会の競技力向上委員会が決定した推薦選手 A を再審議なしに B に交替する過程で手続きを無視し、管理監督の義務を疎かにしたとし、協会に機関警告を要求した。

合わせて卓球協会の後援および寄付金に対するインセンティブを不当に支給したと指摘した。

文体部の承認を受けていない基金管理規定を根拠に、誘致金の 10%に当たる金額をインセンティブとして支給したのは「役員は報酬を受け取ることができない」という規定に違反したということ。

倫理センターはこれと関連して当時卓球協会会長だった柳承敏大韓体育会長を含む協会前・現職役員 4 人に対して管理不十分などを理由に懲戒を要求した状態だ。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20250418037900007?input=1195m>

03 JIBS 2025. 04. 18

障害者スポーツ人権・・・「条例案有名無実」



体育館の中が熱気でいっぱいです。

さわやかに空を切りながらネット上を行き来するシャトルコック。

障害者バドミントン選手たちです。

全国体育大会を控えて汗を流しながら、それぞれトレーニングに邁進しています。

選手たちの情熱の前に身体的限界はどんな障壁にもなりません。

キム・ヨンシム/済州自治道障害者バドミントン選手

「私の人生のパートナーと言えるほど情熱的に今までスポーツをしてきました。（障害者体育人の人権保障のために）専門的な人々がたくさん必要だと思います。一人や二人では障害者の人権を守ることが難しいので…」

しかし、障害者体育人たちには現実の壁が侮れません。

障害者体育人の人権実態調査によると、回答者 297 人のうち 16.2%が不公正な経験をしたと答えました。

また、17.4% が言語と身体暴力、いじめの問題に対する改善が必要だと答えました。

このような障害者体育人たちの人権を保障するために昨年関連条例案が施行されました。
条例によれば3年ごとに障害者スポーツ人権保障基本計画を樹立し、支援方案と保護対策などを用意することになっています。

また、毎年人権侵害の実態調査を行うようにしています。

だが、基本計画樹立はまだ終わっておらず、昨年人権侵害実態調査もなされていないことが確認されました。

条例案を制定したものの、有名無実な状況なのです。

キム・ソヒョン / 済州自治道体育振興課主務官

「上半期中に基本計画施行計画を樹立する予定です。今年、障害者スポーツ人権センターを通じて障害者スポーツ人権関連実態調査を進める予定です」

現在、道内に登録されている障害者スポーツ人は約1400人。

障害者スポーツ人の人権保障のためにより積極的で実効的な対策準備が要求されています。

出典：<https://www.jibs.co.kr/news/replay/viewNewsReplayDetail/2025041818091492960?feed=na>

04 天地日報 2025.04.15

慶南テコンドー協会、役員不正・不正疑惑で「まな板の上」



慶尚南道テコンドー協会の前・現職役員らが不正と不正疑惑に包まれ、道民とテコンドー人の公憤を買っている。

チャムテコンドー実践連帯の道しるべ代表は15日、道庁プレスセンターで記者会見を開き、協会内の不法行為を告発し、厳正な調査と処罰を促した。

李代表は、前慶南テコンドー協会のハン・ギョハク会長が刑法違反、国家公務員法違反、幼児教育法違反、公職選挙法違反などの疑いで告発された経緯があり、協会任期満了を控えて辞職届を提出する方式で責任を回避したと主張した。

また、現、金ハクス会長とチン・サンデスポーツ公正委員長は各々人権侵害疑惑とテコンドー協会内の不正・職権乱用疑惑で調査と捜査が進行中だと明らかにした。特に、新型コロナウイルス感染症の支援金と関連して、副会長らに支給された支援金を回収したという疑惑まで提起された。

道しるべ代表は「このような不正と不正行為はテコンドーのイメージ失墜はもちろん慶尚南道の名誉まで傷つける深刻な事案」とし、関連役員らの即刻辞退と徹底した捜査を要求した。

慶南体育会は同日、公式立場を発表し、慶南テコンドー協会の金ハクス会長の承認経過と今後の処理計画を明らかにした。

体育会によると、2024年12月に実施された協会長選挙の結果によって、金ハクス当選者が2025年1月7日に承認を要請し、これに対する関連苦情が受け付けられ、文体部傘下のスポーツ倫理センターに申告した。以後、体育会は大韓体育会に有権解釈を要請し、大韓体育会は「欠格事由が確定せず承認拒否は難しい」という立場を明らかにした。

これに対し慶南体育会は関連規定により金ハクス当選者に対して2025年1月10日承認を承認した。ただし「今後、法的結果により承認取り消し可否を行政処理する予定」と付け加えた。

出典：<https://www.newscj.com/news/articleView.html?idxno=3258010>

05 ニューデイリー 2025. 04. 21

一緒に走り、一緒に学ぶ 白石大学特殊体育教育科の特別授業



白石大学校師範学部特殊体育教育科が障害者の日を迎え、発達障害者と特別な授業を行うなど、暖かい同行を続けている。まさに「発達障害者運動とサービスランニング」授業だ。

この授業は単純な理論教育を越え、特殊体育を専攻する大学生たちが実際に発達障害者を対象に運動プログラムを企画し、共に体験しながら実習する教育課程だ。

学生たちは障害者の特性を考慮して興味を誘導し、身体活動を安全に助ける障害物競走、足ドッジボール、協同ゲームなどオーダーメイド型運動プログラムをチーム別に考案して開発する。

このプログラムは「現場実習」を中心に一学期 15 週間の授業中、10 週間管内の昼間保護センターと連携して発達障害者の当事者が学校を訪問する。

学生たちは彼らとパートナーになって直接運動を指導し、一緒に汗を流しながらお互いの壁を崩す。

直接授業に参加した特殊体育教育科 1 年生のパク・ジェヨン(20 歳・男)学生は「障害者のための運動を直接企画し、その運動を共にした経験は教科書のどこでも学ぶことができない貴重な経験だった。毎週運動しながらお互いに笑って応援する瞬間が私をさらに成長させた」と話した。

ヤン・ハンナ特殊体育教育科教授は「この授業は単純な体育指導実習ではなく、学生たちと発達障害者の皆がお互いを理解し成長する貴重な時間」とし、「学生たちは理論で学んだ障害理解を体で体験し、発達障害者の方々は学校という新しい空間で同年代と共に交わる機会を得る」と伝えた。

出典：<https://cc.newdaily.co.kr/site/data/html/2025/04/21/2025042100206.html>

06 週間スポーツニュース

体育公団、2025 年国家代表国内大学院教育支援金授与

<https://www.news1.kr/sports/general-sport/5759676>

韓国体育学会 25 日「スポーツ週間記念学術大会」開催

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1008071212&plink=ORI&cooper=NAVER

慶尚南道障害者生活体育大会、5 月 8～9 日晋州で開催

https://www.newsis.com/view/NISX20250421_0003146308

2025 全国生活体育大祭典、25 日に全羅南道で開催

http://mbn.mk.co.kr/pages/news/newsView.php?category=mbn00011&news_seq_no=5108193

禹議長、世界韓人体育会長に会い「自負心を持ってサポートする」

<https://www.newsl.kr/politics/general-politics/5760062>

プロスペックス、FC ソウルと障害者体育広報イベント開催

<https://www.etoday.co.kr/news/view/2463901>

「公共体育施設、カカオトークで予約してください」

<https://view.asiae.co.kr/article/2025042012214429792>

忠清南道議会、体育活動を通じた学生の人格教育の育成に乗り出す

<https://daily.hankooki.com/news/articleView.html?idxno=1206731>

木浦市、全国生活体育大祝典に備えた物価安定キャンペーン展開

https://www.pressian.com/pages/articles/2025042114565465610?utm_source=naver&utm_medium=search

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>